

早稲田大学 大学院法学研究科  
2023年度 修士課程入学試験問題(国内受験)  
【専修科目】

公法学専攻

行政法

下記の4つの問題（[1]～[4]）から1題を選択して答えなさい。解答を始めるに当たり、選択した問題の番号を（例えば、[1]なら、[1]と）明記すること。

- [1] 行政上の強制執行に係る現在の法制度を概説し、かつ、当該制度の課題を指摘したうえで、行政の実効性確保手段について論じなさい。
- [2] 「国家賠償と損失補償の谷間」の問題とは何かを説明したうえで、いわゆる予防接種禍訴訟の事例を念頭に、予防接種禍の国家賠償的救済アプローチと損失補償的救済アプローチを対比しつつ、両アプローチの長短を論じなさい。
- [3] 法人税法（昭和40年法律第34号）における一般的租税回避否認規定について論じなさい。
- [4] 財産評価基本通達6項と最高裁令和4年4月19日第三小法廷判決について論じなさい。

以上

答案の書き方（横書/縦書）

六法全書の使用を（認める/認めない）